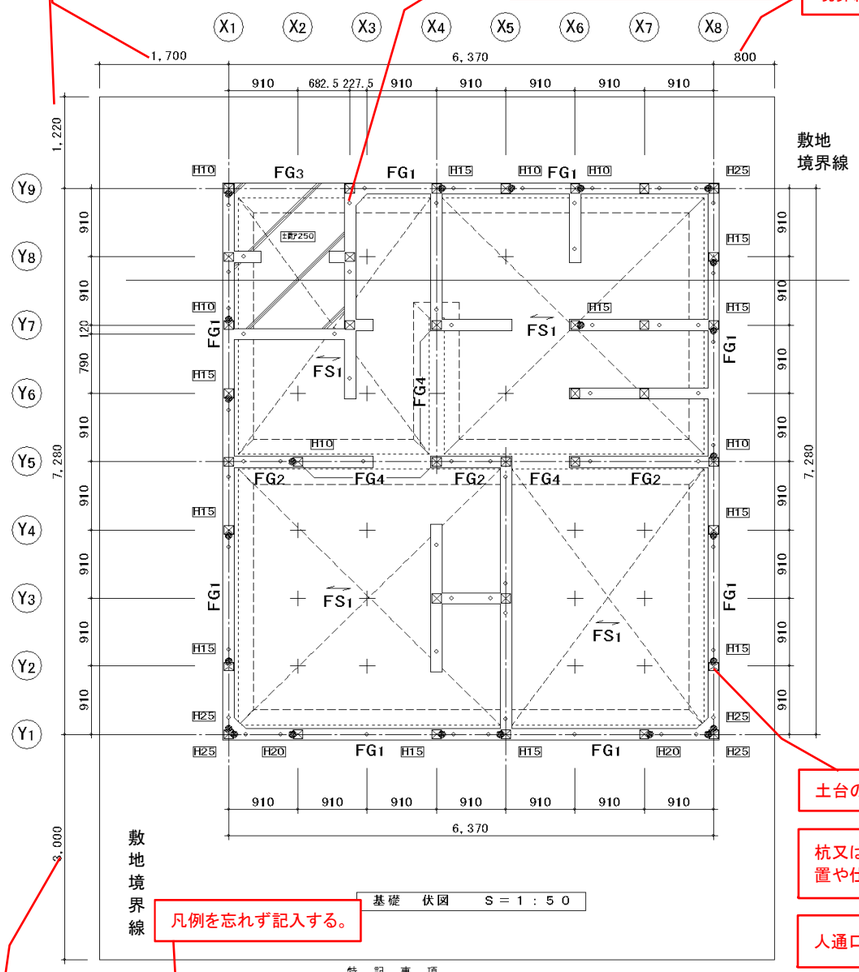
境界線との離れを記入する。

基礎伏図には基礎の配置、寸法、構造方法と材料の種別、寸法を明示する。

境界線との離れを記入する。



土台の継手位置を別途確認する。

杭又は地盤改良の場合は、配置や仕様等を記入する。

人通口補強図を別途記入する。

凡例を忘れず記入する。

基礎　伏図　S＝1：50

境界線との離れを記入する。

特　記　事　項

1）．地耐力は、30.0kN/㎡とする。（SSW試験による）　GL±0　砂礫層

2）．特記なき布基礎天端は、GL＋400とする。

3）．特記なき地中梁は、FG5とする。

4）．――――――　――――― 複筋の、主筋方向を示す。特記なき複筋天端は、GL＋50とする。

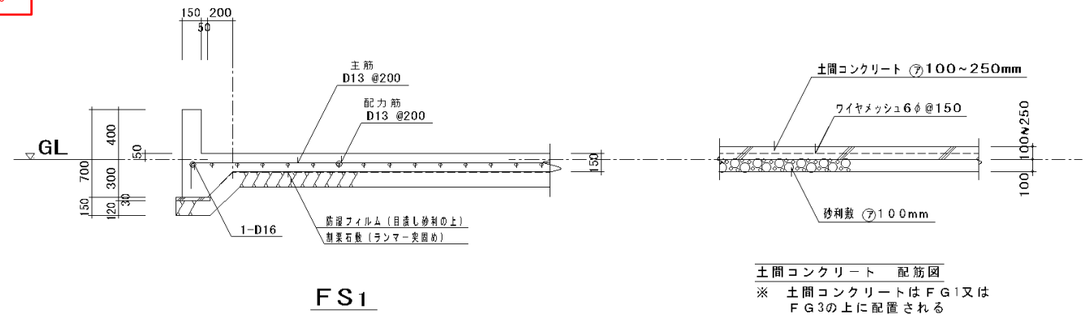
5）．┼――――――　――――― 鋼製束立て位置を示す。

6）．○ ―― アンカーボルトM12（L=400）を示す。 ● ―― アンカーボルトM16（L=700以上）を示す。

7）．H10 H15 H20 H25 ――― ホールダウン金物（H10～25）の位置を示す。

8）．⊠ ――――――　――――― 1階柱の位置を示す。

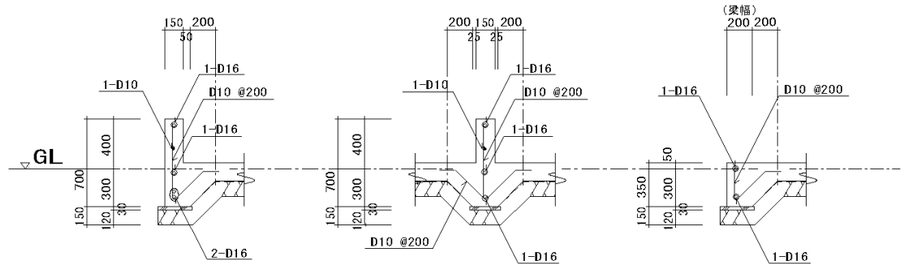
9）．――――――　――――― 土間コンクリート（7）100～250mmを示す。



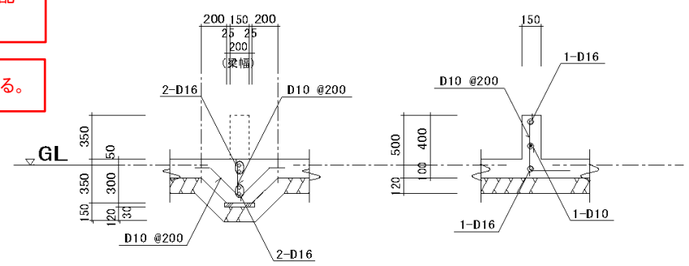
FS1

土間コンクリート　配筋図

※　土間コンクリートはFG1又はFG3の上に配置される



FG1　FG2　FG3



FG4　FG5

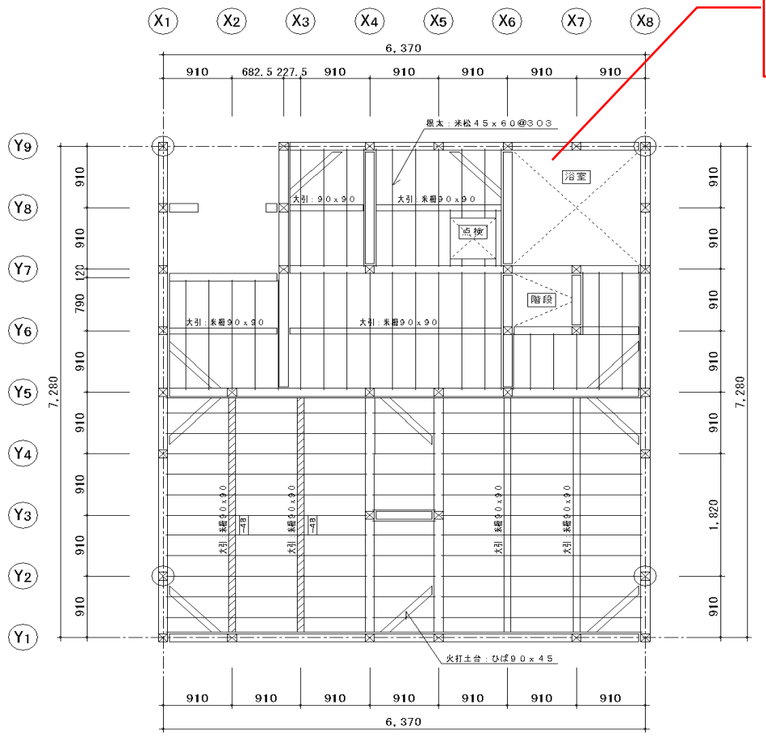
後続部の配筋は、FG5に準ずる。

基礎　配筋図　S＝1：30

設計者名、押印、資格、番号を忘れずに記入する。

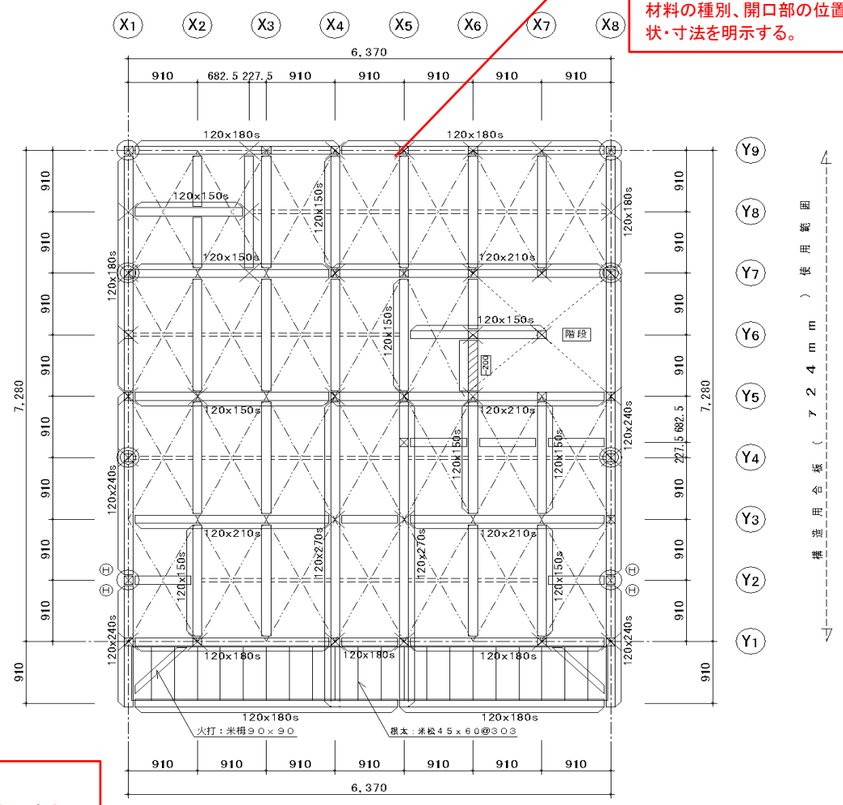
一級建築士事務所	○○○○建築設計事務所 一級建築士事務所○○知事登録○○○○号 一級建築士○○○○大臣登録第○○○○号 山田　太郎 山田	工事名称 埼玉邸新築工事		日付
		図面名称 基礎伏図、基礎配筋図	縮尺 1/50 1/30	図番 S－01

各階床伏図には構造耐力上主要な部分である部材（接合部を含む）の位置、寸法、構造方法と材料の種別、開口部の位置、形状・寸法を明示する。



１階床伏図　　Ｓ＝１：５０

各階床伏図には構造耐力上主要な部分である部材（接合部を含む）の位置、寸法、構造方法と材料の種別、開口部の位置、形状・寸法を明示する。



２階床伏図　　Ｓ＝１：５０

床の仕様を別途木造工事標準仕様書に記入する。
木造工事標準仕様書が添付されない場合は、床伏図に記入する。

凡例を忘れず記入する。

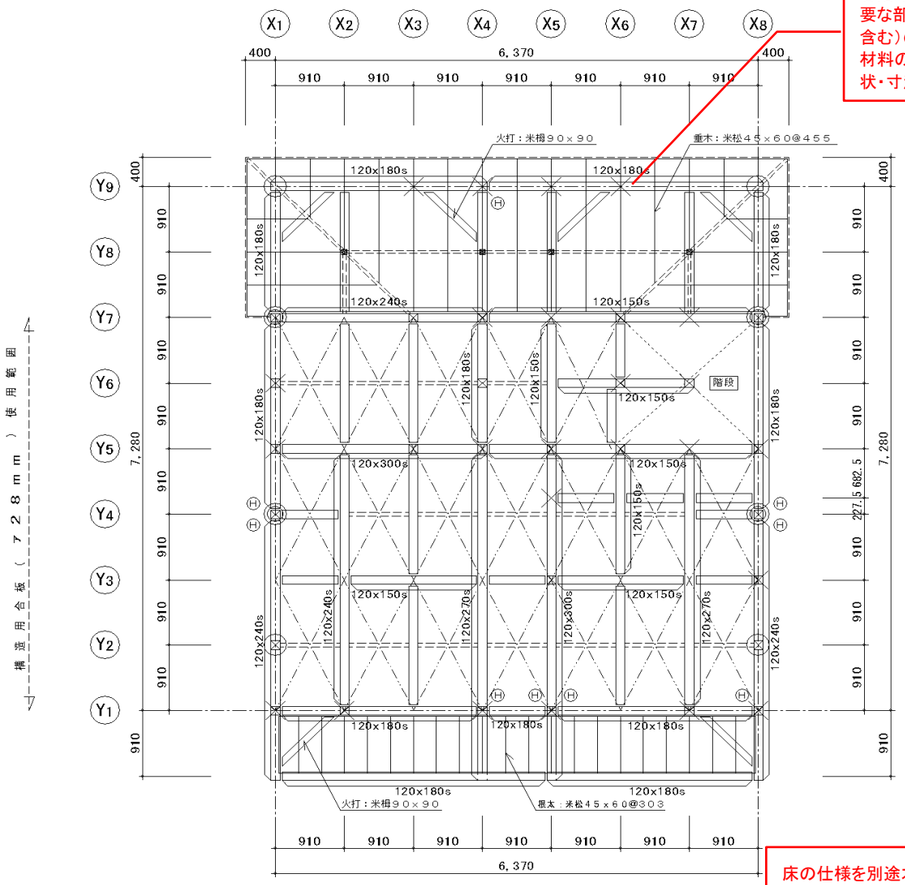
特　記　事　項

1）．特記以外の寸法は、意匠図に依る。
2）．1～2階通し柱 120x120（桧）を示す。
3）．2～3階通し柱 120x120（桧）を示す。
4）．管柱120x120（桧）を示す。
5）．下階の柱位置を示す．
6）．特記以外の土台は、120x120（ひば）とする。
7）．特記以外の2階梁は、120x120s（欧州赤松集成材）とする。
8）．梁背270以上及び1階の仕口、接合手は、羽子板ボルト又は短冊金物2枚とする。
9）．1階床下地は、構造用合板ア12mm敷きとする。（N50@150釘）
10）．構造用合板受け 90x90（米松）を示す。
11）．構造用合板（ア24mm）の配置を示す。
12）．バルコニー床下地は、構造用合板ア12mm 敷きとする。（N50@150釘）
13）．特記以外の1階土台、大引き天端は、GL+540（±0）とする。
14）．特記以外の2階梁天端は、GL+3，414（±0）とする。
15）．

設計者名、押印、資格、番号を忘れずに記入する。

一級建築士事務所	○○○○建築設計事務所 一級建築士事務所○○知事登録○○○○号 一級建築士○○○○大臣登録第○○○○号 山田　太郎 山田	工事名称 埼玉邸新築工事		日付
		図面名称 １、２階床伏図	縮尺 1/50	図番 Ｓ－０２

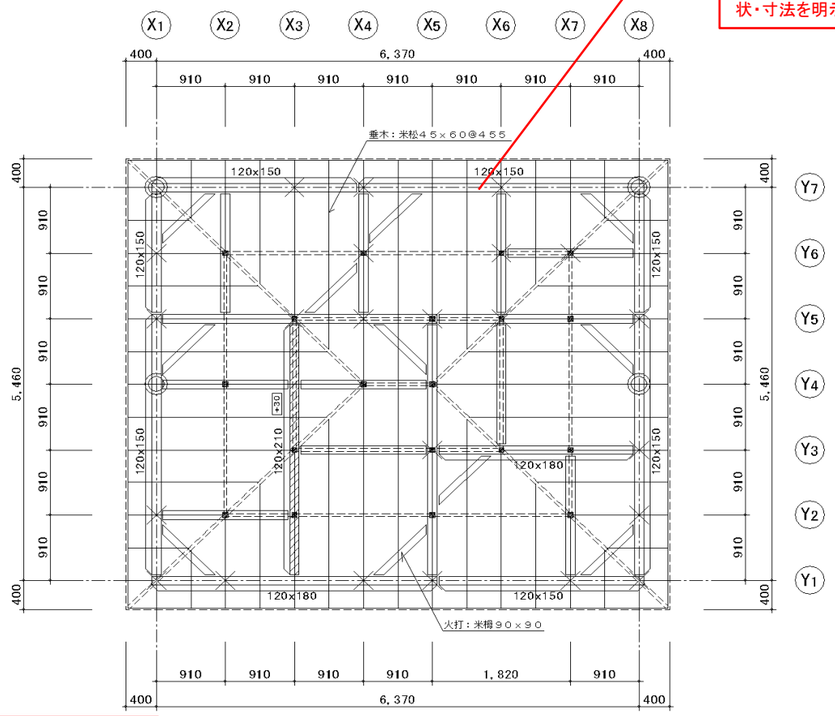
各階床伏図には構造耐力上主要な部分である部材（接合部を含む）の位置、寸法、構造方法と材料の種別、開口部の位置、形状・寸法を明示する。



床の仕様を別途木造工事標準仕様書に記載する。
木造工事標準仕様書が添付されない場合は、床伏図に記載する。

３階床伏図　　Ｓ＝１：５０

小屋伏図には構造耐力上主要な部分である部材（接合部を含む）の位置、寸法、構造方法と材料の種別、開口部の位置、形状・寸法を明示する。



Ｒ階小屋伏図　　Ｓ＝１：５０

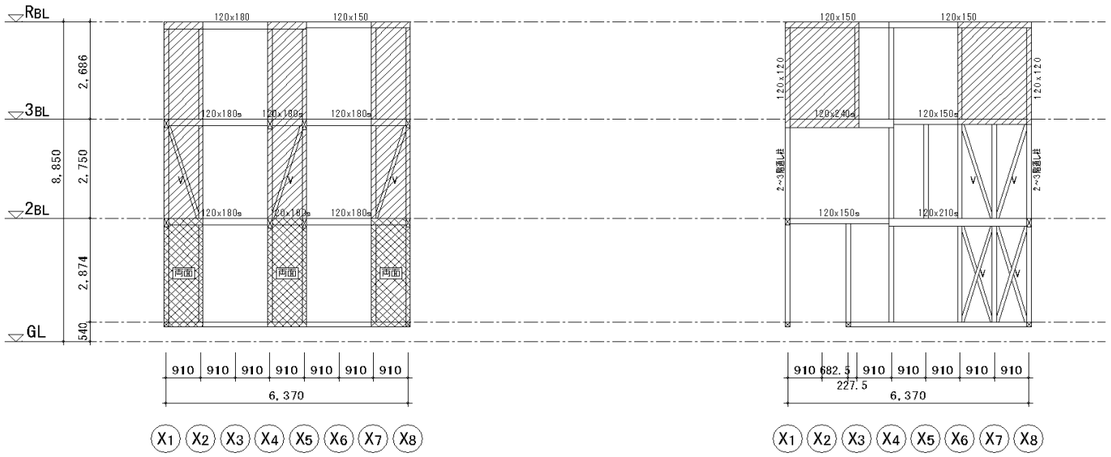
凡例を忘れず記入する。

特　記　事　項

1）．特記以外の寸法は、意匠図に依る。
2）．⊠ ◯　1～2階通し柱 120x120（桧）を示す。
3）．⊠ ◯　2～3階通し柱 120x120（桧）を示す。
4）．⊠　管柱120x120（桧）を示す。
5）．╳　下階の柱位置を示す．
6）．特記以外の３階梁及び胴差しは、120x120s（欧州赤松集成材）とする。
7）．特記以外の梁及び胴差しは、120x120（米松）とする。
8）．梁背270以上及び(H)部の開口、羽子板ボルト又は短冊金物２枚とする。
9）．＝＝＝＝＝　構造用合板受け 90x90（米松）を示す。
10）．╳　構造用合板（ｱ24mm）の配置を示す。
11）．▬　束柱　９０×９０（米栂）を示す。
12）．＝＝＝＝＝＝　母屋　９０×９０@９１０（米栂）を示す。
13）．野地板は、構造用合板ア１２mm貼りとする。（N50@150以内）
14）．バルコニー床下地は、構造用合板 ア12mm 敷きとする。(N50@150以内)
15）．特記以外の３階梁天端は、ＧＬ＋６．１６４（±０）とする。
16）．特記以外のＲ階梁天端は、ＧＬ＋８．８５０（±０）とする。
17）．
18）．

設計者名、押印、資格、番号を忘れずに記入する。

３建築士事務所	○○○○建築設計事務所 一級建築士事務所○○知事登録○○○○号 一級建築士○○○○大臣登録第○○○○号 山田　太郎 山田	工事名称：埼玉邸新築工事	作成
		図面名称：３階床伏図、小屋伏図 / 縮尺：1/50	図番：Ｓ－０３



Y1 通り

Y7 通り

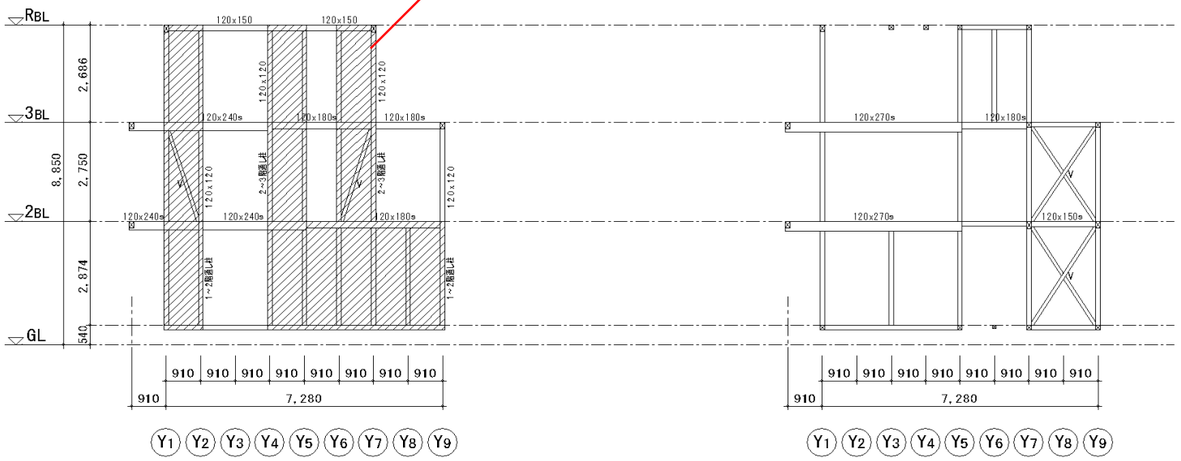
軸組図　S＝1：100

凡例を忘れず記入する。

特　記　事　項

1）．特記以外の寸法は、意匠図に　依る。
2）．▨　－－－－　耐力壁「構造用合板㋐ 9.0 m/m」を示す。
3）．　V　－－－－　耐力壁「筋交い：90×45（米松）」を示す。
4）．特記以外の通し柱、管柱は、120×120（桧）とする。
5）．特記以外の R階梁及び胴差しは、120×120（米松）とする。
6）．特記以外の2，3階梁、胴差しは、120×120s（欧州赤松集成材）とする。
7）．特記以外の土台は、120×120（ひば）とする。

軸組図は2面以上必要で、構造耐力上主要な部分である部材（接合部を含む）の位置、寸法、構造方法と材料の種別、開口部の位置、形状・寸法を明示する。



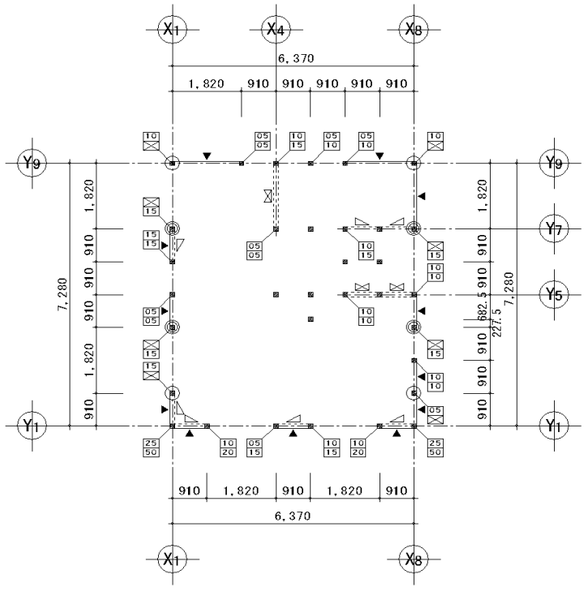
X1 通り

X4 通り

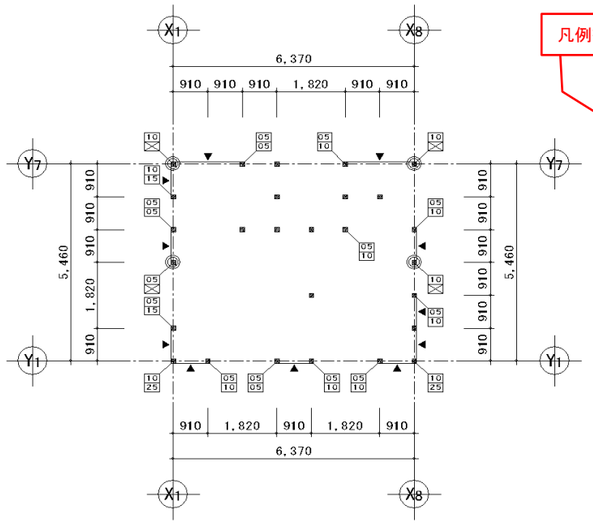
別途、構造詳細図に以下の項目を記入する。
- 屋根ふき材、内装材、外装材、張壁その他これらに類する建築物の部分の構造方法
- 屋根ふき材の種別
- 柱の有効細長比
- 構造耐力上主要な部分である軸組等の構造方法
- 構造耐力上主要な部分である継手又は仕口の構造方法
- 外壁のうち、軸組が腐りやすい構造である部分の下地
- 構造耐力上主要な部分である部材の地面から1m以内の部分の腐食又は防蟻措置

設計者名、押印、資格、番号を忘れずに記入する。

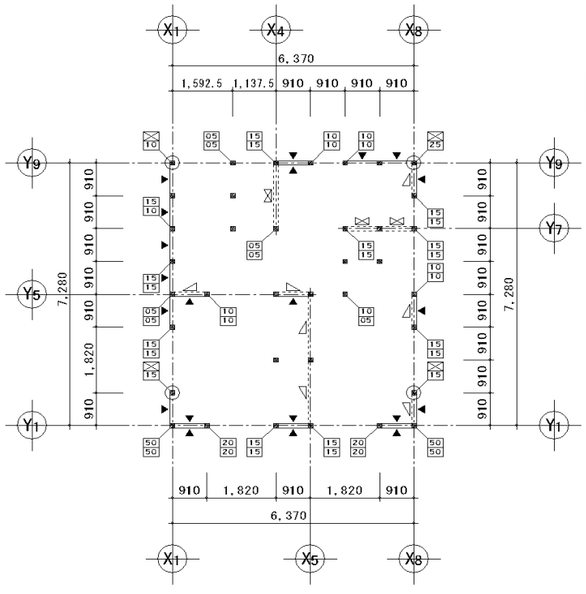
一級建築士事務所	○○○○建築設計事務所 一級建築士事務所○○知事登録○○○○号 一級建築士○○○○大臣 登録第○○○○号 山田　太郎 山田	工事名称 埼玉邸新築工事		日付
		図面名称 軸組図	縮尺 1/100	図番 S－04



2 階耐力壁配置図　　S＝1：100



3 階耐力壁配置図　　S＝1：100



1 階耐力壁配置図　　S＝1：100

凡例を忘れず記入する。

特記事項

1）．特記以外の寸法は、意匠図に　依る。
2）．特記以外の管柱は、105x105 (WW集成材) とする。
3）．(■) 1～2階通し柱 105x105 (WW集成材) とする。(■) 2～3階通し柱 105x105 (WW集成材) とする。
4）．構造用合板 79mm （片面）位置を示す。　壁倍率 （2.50）
5）．構造用合板 79mm （両面）位置を示す。　壁倍率 （5.00）
6）．筋交い：米松90x45 位置　を示す。　壁倍率 （2.00）
7）．筋交い：米松90x45x2 位置　を示す。　壁倍率 （4.00）
8）．構造用合板 79mm ＋筋交い：米松90x45 位置を示す。　壁倍率 （4.50）
9）．構造用合板 79mm ＋筋交い：米松90x45x2 位置を示す。　壁倍率 （5.00）
10）．三角形の底辺は土台及び下部梁、高さは柱、斜辺は筋交いの向きを示します。
11）．上段は柱頭使用金物、下段は柱脚使用金物とする。
12）．×点部は、通し柱部を示し、空欄部の引抜き金物はなしとする。
13）．必要金物表記以外の柱頭、柱脚部には、0.5kN程度の引抜き金物を取付ける。

凡例を忘れず記入する。

等級を必ず記入する。

部　材　リ　ス　ト

記号	名称	材種	断面	等級 ピッチ等	取付金具
(■)	2～3階通し柱	桧	120x120	[無等級]	接合金物記号は、下記に依る。 50 → S-HD25x2、又は同等認定金物 40 → S-HD20x2、又は同等認定金物 30 → S-HD15x2、又は同等認定金物 25 → S-HD25、又は同等認定金物 20 → S-HD20、又は同等認定金物 15 → S-HD15、又は同等認定金物 10 → S-HD10、又は同等認定金物 05 → VP、又は同等認定金物
(■)	1～2階通し柱	桧	120x120	[無等級]	
■	3階管柱	桧	120x120	[無等級]	
■	2階管柱	桧	120x120	[無等級]	
■	1階管柱	桧	120x120	[無等級]	
×	下階の柱位置を示す。				
	梁	欧州赤松集成材	120x360s ～270s	(E105-F300) [対称異等級]	羽子板　ボルト　SB・F×2枚
	梁	欧州赤松集成材	120x240s ～150s	(E105-F300) [対称異等級]	羽子板　ボルト　SB・F×1枚
	梁	米　松	120x300 ～270	[無等級]	羽子板　ボルト　SB・F×2枚
	梁	米　松	120x240 ～150	[無等級]	羽子板　ボルト　SB・F×1枚
	特記以外の梁	欧州赤松集成材	120x120s	(E105-F300) [対称異等級]	2，3　階　床
	特記以外の梁	米　松	120x120	[無等級]	R　階
	面材壁	構造用合板	ア9mm	片　面	N50（@150）
	面材壁	構造用合板	ア9mmx2	両　面	N50（@150）
	片筋交い	米　松	90x45	[無等級]	BP-2、又は同等認定品
	両筋交い	米　松	90x45x2	[無等級]	BP-2x2、又は同等認定品
	面材壁＋筋交い（片）	⑦9mm ＋90x45			
	面材壁＋筋交い（両）	⑦9mm ＋90x45x2			
※ ◿ 三角形の底辺は土台及び下部梁、高さは柱、斜辺は筋交いの向きを示します。					
	野地板	構造用合板	ア12mm	――	N50（@150）
	垂る木	米　松	45x60	[無等級] @455	ひねり金物　ST-90、ZN-40
	母　屋	米　桐	90x90	[無等級] @910	ひら　金物　SM-12、ZN-65（建物外周部） かすがい　留め（建物内部）
	束	米　桐	90x90	[無等級]	ひら　金物　SM-12、ZN-65（建物外周部） かすがい　留め（建物内部）
	火　打	米　桐	90x90	[無等級]	Bolt、M12
	2，3階床版	構造用合板	ア24mm	根太無し	N75（@150）「4周釘打ち」
	合板受け	米　松	90x90	[無等級]	3、2　階　床、ロフト床
	1階床版 バルコニー床版	構造用合板	ア12mm	――	N50（@150）
	根　太	米　松	45x60	[無等級] @303	1　階　床、バルコニー床
	大引き	米　桐	90x90	[無等級] @910	1　階　床
	土　台	ひ　ば	120x120	[無等級]	
	土台火打	ひ　ば	90x45	[無等級]	

設計者名、押印、資格、番号を忘れずに記入する。

一級建築士事務所	○○○○建築設計事務所 一級建築士事務所○○知事登録○○○○号 一級建築士○○○○大臣登録第○○○○号 山田　太郎 山田	工事名称	埼玉邸新築工事	日付
		図面名称	耐力壁配置図　尺 1/100	図番 S－05